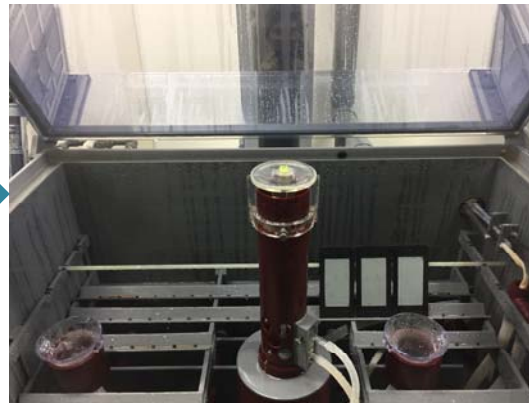
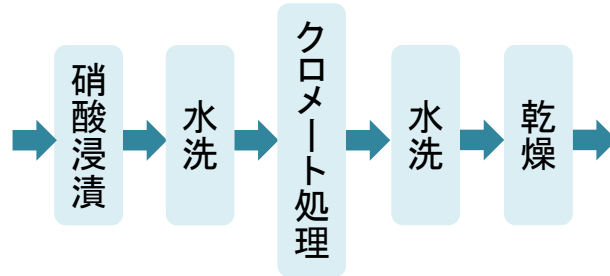
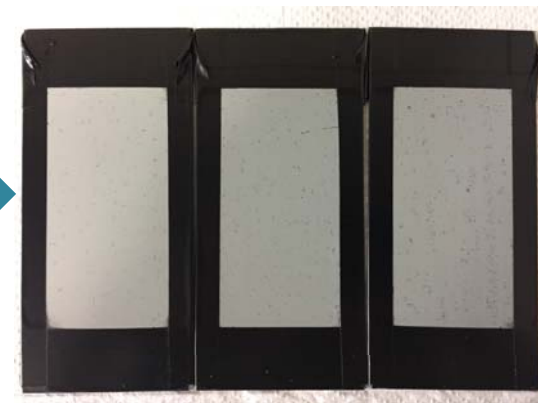


腐食環境サイクル試験機による3価クロメート処理の耐食性の評価

腐食環境サイクル試験機を用いた一つの事例として、近年の規制により6価クロメート処理からの代替が進んでいる3価クロメート処理を電気亜鉛めっき鋼板に施した試験片の耐食性を評価しました。



槽内配置の外観



試験後試験片

試験片

- 標準サイズ: 150mm × 70mm
- 電気亜鉛めっき鋼板に3価クロメート処理を施したもの
- 乾燥後24時間以上経過したもの
- 処理液作製日当日・3日後・7日後にpHを調整後、各3枚ずつ作製

試験条件

- 『塩水噴霧試験』
- 噴霧液: 5%塩水;
- 槽内温度: 35℃
- 試験時間: 96時間

試験結果

- 全ての試験片について
- 24時間までは腐食生成物は認められなかった。
- 白色腐食生成物は96時間後も認められなかったが、局所的な腐食が認められた。

3価クロメート処理に限らず、表面処理は処理設備や管理状況によって仕上がりに影響を受けます。そのため、耐食性が十分であるかどうかの評価が随時必要と考えられます。